

情 報 公 開 文 書

研究の名称	Vogt-小柳-原田病における脈絡膜血流の長期経時変化に関する診療録調査
整理番号	R2020075
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	林 篤志
研究の概要	【研究対象者】 2015年5月1日から2018年10月31日に富山大学附属病院眼科を受診し、ステロイド治療開始後2年間追跡できた急性期Vogt-小柳-原田病の患者さん 【研究の目的・意義】 Vogt-小柳-原田病の炎症が強い急性期には脈絡膜が異常に肥厚していること、ステロイド治療を受けることにより脈絡膜の厚さが正常化することが報告されています。また急性期には脈絡膜の血流が低下しており、ステロイド治療により血流が改善することが短期間の経過観察で報告されています。しかし血流が長期的に改善するかどうかの既報はありません。 長期的な展望を明らかにすることで、今後Vogt-小柳-原田病を発症して治療を行う患者に対する説明を充実させることができると考えています。 【研究の方法】 Vogt-小柳-原田病患者14例28眼（男性10例、女性4例）を対象に脈絡膜血流速度の変化率、脈絡膜厚の変化率を解析します 【研究期間】 2020年7月14日から2022年3月31日まで 【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。
研究に用いる情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	主要評価項目：脈絡膜血流速度の変化率、脈絡膜厚の変化率 副次的評価項目：最高矯正視力、経過観察期間中の再発率、ステロイド投与期間、免疫抑制剤や生物学的製剤の併用率 他機関への情報の提供：無
研究に用いる情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 眼科 教授 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究責任者：附属病院 眼科 教授 林 篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担当者所属・氏名 眼科 阿部 慎也 研究対象者等からの相談窓口 電話対応、メール相談 電話：眼科外来 076-434-7310 または 076-434-7311 対応可能時間 9時～17時 メール相談：sabe@med.u-toyama.ac.jp